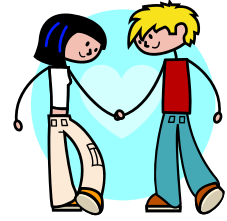


第25号

うつべ人権協だより

発行 平成27年3月 内部地区人権教育推進協議会



内部地区人権教育推進協議会は、「人が人として尊ばれ、住んでいてよかった 住んでみたいまち、うつべ」の実現をめざして平成12年以来、活動をしています。平成26年度の内部地区、南部ブロック、四日市市の主な活動実績をご紹介します。

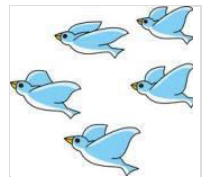
内部地区人権啓発集会開催

平成27年2月15日(日)内部中学校で女性講師一龍齋春水さんにより、「金子みすゞの生涯」と題して講談が行われました。一龍齋春水さんは、人間国宝一龍齋貞水の門下生で平成16年に真打ちに昇進、女性講師の第一人者として、また声優としても活躍されています。

金子みすゞは、大正から昭和にかけて活躍した童謡詩人で、26歳の若さで1930年(昭和5年)に亡くなるまで512編もの詩を作りました。

自然と共に生き、小さな命を慈しみ、優しいまなざしで見つめ、言葉を編んで詠い続けた金子みすゞ。その気持ちが一龍齋春水さんの切々たる語りで1時間半に亘って紹介されました。

当日は約120名もの人が出席、皆さんそれぞれに金子みすゞの心に思いをいたし、大きな感銘を受けました。講演後のアンケートにも「大変感動しました」との声が多く寄せられました。四日市市立図書館にも金子みすゞに関する本が多くあります。どうぞご覧下さい。



金子みすゞ

金子みすゞの詩の紹介「私と小鳥と鈴と」

私が両手を広げても お空はちっとも飛べないが
飛べる小鳥は私のように 地面(おべた)を速くは走れない
私が体をゆすっても きれいな音は出ないけど
あの鳴る鈴は私のように たくさんな唄は知らないよ
鈴と小鳥とそれから私 みんなちがってみんないい

内部地区中学校区人権フォーラム開催

平成26年12月5日（金）内部中学校で、小中学生を中心に人権フォーラムが開催されました。これは内部中、内部小、内部東小の3校の生徒・児童を対象にして、人権について学びながら相互の交流を図るというもので、平成18年度から実施されているものです。生徒・児童420名と先生や人権協関係者が参加し、分科会では中学生がリードしながら「あっていいちがい、あってはいけないちがい」というテーマについて皆で考え、話し合いました。小学生の皆さんからも活発な意見が出ました。



参加した皆さんからは「皆で議論ができてよかった。いろんな考えがあり、男だから/女だからとか、これだと決めつけるのはよくない。たくさんの違いがあることを知った。普段何気なくしていることもこれでいいのかと改めて思った。それぞれに違いがあっても一人の人間として見ていくことが大事だと思う」といった貴重な意見が多く聞かれ、有意義なフォーラムとなりました。

お月見コンサートで熱演を鑑賞



平成26年10月4日（土）内部東小学校で第9回お月見コンサート（内部地区人権協後援）が開催され、約250人が参加。ピアノ、チェロの演奏に合わせて、歌や「お母さん開けゴマ」という寝たきりの母親への思いを込めた感動的な絵本の朗読がありました。



続いて、障がいを持った子どもと仲間達によるミュージックベルの演奏があり、日ごろの練習の成果を発揮して素晴らしい演奏を聞かせてくれました。一生懸命なベルの演奏に皆さん手拍子を送ったり、大きな感動の拍手、会場が一つになって楽しいひと時を過ごし、最後に全員で「ふるさと」を合唱してコンサートが終わりました。

うつべっ子はげまし隊や采女城跡保存会の有志により竹とすすき、そしてお月様まで飾りつけてもらって雰囲気も抜群。秋の夜の1時間半、心に沁みるコンサートでした。

南部ブロック人権ひろばでの発表と演奏会

平成 27 年 1 月 25 日（日）ヘルスプラザ（塩浜）で南部ブロック人権ひろばが開催されました。これは、内部・河原田・楠・塩浜・日永の 5 地区が交代で毎年開催しているものです。

第 1 部では小中学生による人権作文の発表が行われ、内部地区からは、内部中 3 年生の平山優香子さんが「今、自分にできること」と題して発表しました。



平山優香子さん

平山さんは、人権学習で「人権とは人が人として生きる権利」ということを学び、更に住井すゑ著「橋のない川」を読んで心打たれ「未来に差別を持ち越すな、人が嫌なことはしたらダメだ、自分が学んだことを風化させない」と訴え、大きな拍手を浴びました。



第 2 部は「命の大切さ トーク&コンサート」として、ハープの優しい音色と民族楽器による演奏と語り。「生かされていることの大切さ」をよく考えて大事に生きよう、と講師の実体験に基づく呼びかけに共感を覚えた集いでした。

じんけんフェスタ2014開かれる

平成 26 年 12 月 6 日（土）、7 日（日）の両日、文化会館で「じんけんフェスタ 2014」が開かれ、講演、映画の上映、展示、即売会などのイベントがあり、多くの人でにぎわいました。

イベントの一つは映画の上映会。明治から平成まで生き抜き 90 歳を超えてから詩を書きはじめ、多くの人に感動を与えた柴田トヨさん。ベストセラーになった「くじけないで」という詩集をテーマに柴田トヨさんの半世紀を描いた映画は、見る人の胸を打ちました。



記念講演は、障がいを持ちながら前向きに生き、ベストセラー「五体不満足」で一躍有名になった乙武洋匡さんの「みんなちがってみんないい」というお話。乙武さんが教師時代に、①自分のクラスの児童一人ひとりの個性を認めて「ジグソーパズルのようなクラス」（凸凹のある個性、それをみんなで認め合い一枚の絵になる）を作ったという話、②「私は△△（短所）だけれど、○○（長所）だよ」といったそれぞれの違いを認め合う生き方、③自分は 71 億人の一人、自分に代わる人はいない…等大変勇気づけられる講演でした。乙武さんと家族の日常生活も紹介され、ユーモアあふれる語り到大爆笑も…。乙武さんへのエールとお礼の拍手が鳴りやまない記念講演でした。

内部地区文化祭開催・人権啓発コーナーに展示

平成 26 年 11 月 2 日（日）、第 46 回の内部地区文化祭が開催されました。例年同様に、今年も「人権啓発コーナー」を設け、小中学生の人権啓発ポスターを展示し、多くの人に鑑賞していただきました。また、昨年度決めた「育もう内部の絆」の標語も会場に掲示され、人と人との結びつきの大切さを改めて認識しました。平成 27 年も 11 月 1 日（日）に文化祭を開催します。皆様のご参加と力作をお待ちしています。



人権地区懇談会で勉強

毎年、内部地区では人権地区懇談会を自治会の協力を得て開催しています。本年度は、泉、東原、森が山、北小松、采女中・南部、波木第 2・第 3 で開催しました。参加者は 5～6 人のグループに分かれ、人権〇×クイズや人権マップを使って気付いたことをゲーム感覚で話し合い、人権への認識を新たにしました。



〇×クイズの例です。〇か×か、皆さんいかがですか？

問題：いじめとは、身体的な攻撃の他、心理的な圧迫などによって、児童生徒が心身の苦痛を感じていることが誰の目にも明らかな行為のことをいう。

答えは×です。誰の目にも明らかな行為でなくても、本人が苦痛を感じていればそれはいじめになります（地区懇談会では、こうした身近なことを取り上げゲームも交えて人権の勉強をします。皆さんの地区での懇談会にご参加下さい。秋～翌年 2 月頃開催し、自治会の回覧等で案内しています）

南部ブロックの活動紹介

平成 26 年度、南部の各地区でも、次のような人権啓発活動が行われました。平成 27 年度も各地区での活動が計画されます。その都度、自治会回覧等でご案内します。内部からは近くですし、興味を引くような内容が盛り沢山です。是非これらの地区行事へも参加をお願いします。

日永	26.7.5	講演会「自分らしく老いるために」
日永	27.2.28	講演会「身近な外国人の権利」
塩浜	26.10.11	人権／文化お月見フェスタ 2014
河原田	26.11.9	みかん狩りと人権学習会
河原田	27.2.8	人権コンサート・ギター弾き語り
楠	26.11.23	人権コンサート

人権一口メモと編集後記

人権と聞くと、皆さん、どうしても身構えたり力が入って難しく考えがちですが、一人ひとりの身近なところで気付くことが多くあります。人に対して優しい気持ちを持つことが出発点かとも思います。「わたし発 みんなにひろがれ やさしい心」

平成 26 年度の人権協だよりをお届けします。お気付きの点やご意見がありましたら「内部団体事務局・人権教育推進協議会」（☎347-1224）まで、お知らせください。